

中高校生世代用



Save the Children

セーブ・ザ・チルドレン

セーブ・ザ・チルドレンの活動に参加するみなさんが 安心・安全に過ごせるように

～子どものセーフガーディング～

セーブ・ザ・チルドレンは、子どもたちが安心・安全に活動に参加できるようにすることが、スタッフの大切な役割の一つだと考えています。けがや事故に結びつく危険を取り除いて安全な場にする
ことはもちろん、みなさんが身近な大人からの体罰や暴言などで傷つけられたり、恥ずかしい思い
やつらい気持ちをかかえたまま我慢することがない環境づくりを目指しています。

スタッフからの 約束

セーブ・ザ・チルドレンには、子どもとスタッフが信頼関係を築きながら安心・安全に活動ができるよう、スタッフや関係者が守るべきルールがあります。活動を通じて接するみなさんに、スタッフから次のような約束をします。

子どもが
困っている時に
見て見ぬふりをしたり、
危険を放置したりしません。

子どもが自分で
できることを
必要以上に
手伝いません。



一部の子だけ特別
あつかいをするなど、
えこひいきや差別を
しません。

子どもを叩くなど、
体罰や暴力などにより
身体を傷つけることは
しません。

ひどい言葉をつかったり、
パカにしたり、心が傷つく
ようなことは言いません。

体をバタバタさわったり、
性的な行為やさそいは
絶対にしません。

子どもと長時間2人
だけで過ごさないなど、
できるだけ人目の
届くところで接します。

特別な許可がない限り、
子どもと同じ部屋で
宿泊しません。いっしょの
布団やベッドで寝ません。

活動の場以外で、
子どもと会ったり、
個人的に連絡を
とったりしません。

写真や動画を
とるときや使うときは、
みなさんや保護者から
許可をもらいます。

心配や困ったことがあれば、
みなさんの気持ちや意見を
大切にし、いっしょに解決を
目指します。



こんなときは必ず相談してください

- ケガをした。
- 体のぐあいがわるくなった。
- 活動を続けるのがつらくなった。
- 大人の人やほかの子からいやなことをされた。
- スタッフが「スタッフからの約束」を守らなかった。

子ども相談係

みなさんが感じたことや気が付いたことの中には、スタッフが見落としていることもあるかもしれません。また活動の中で、だれにも相談できずに悩むこともあるかもしれません。そういう時こそ、セーブ・ザ・チルドレンはみなさんの声に真剣に耳をかたむけて一緒に考えたいと思っています。どんなことも話せて、だれもが安心・安全に過ごせる活動にするために、ぜひ声を聞かせてください。



赤いTシャツのスタッフも話を聞いてくれるよ。

なまえ

保護者のみなさまへ

当団体は、スタッフが子どもと適切に接することができるよう、学びやふり返りを大切にしています。万が一、お困りの点やご心配がございましたら、現場スタッフ、あるいは下記窓口にご連絡ください。活動の終了後も、こちらでご相談をお受けしています。

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-8-4 山田ビル4F
03-6859-6869 (平日9:30~17:00) japan.safeguarding@savethechildren.org 子どものセーフガーディング担当